

飲んだら乗れない薬

福岡県水巻町の遠賀中間医師会館で10月18日にあった第181回患者塾「飲んだら乗れない薬」。てんかんや花粉症などの薬に関する相談にも専門家が詳しくアドバイスした。

てんかん薬内服 免許取得は？

△てんかんで通院中。18歳男性の母▽息子が5歳の時からずっとてんかんの薬を飲んでいますが。症状は全く出ていないのですが、車の運転免許は取れないのでしょうか。

発作など 医師の診断を

津田さん てんかんの薬で眠気が出るのは、動きが小さい「部分発作」を抑える薬です。ただ発作が3年間ないとか、脳波に異常がないなどの場合は薬はやめられます。かかりつけ医とも相談して決めればよいと思いき

せき止め 飲むと少し眠く

△福岡県行橋市の55歳男性▽よく風邪でせきが出っぱなしになり、メジコンというせき止めを処方してもら

テープや吸入薬の方法も

すく、メジコンも「眠気が出る可能性が高い」と説明しています。他には気管支拡張テープを使う方法もあります。動悸や手の震えなどの副作用さえ注意すれば、即効性はないですが、使ううちにせき

患者塾

医療の疑問にやさしく答える



星本繁樹さん

抗ヒスタミン薬 疲労時は眠く

△福岡市の43歳男性▽宅配の仕事をしていて、秋の花粉症の鼻水・鼻詰まりで第2世代の抗ヒスタミン薬を飲みますが、疲れない点鼻薬をお薦めしている時は結構眠くなります。ステロイドが少

眠気が出ない点鼻薬で

りません。飲まない方がいいでしょうか。星本さん 抗ヒスタミン薬には個人差があり、運転禁止を記載していないものもありま

おのむら版 患者語・医者語辞典

気管支ぜんそく(英asthma)

患者語：肺がヒューヒューゼーゼーと鳴って、呼吸が苦くなる病気。汚れた空気や気温の変化、運動などが原因で症状が突然出る。しばしば死に至る怖い病気。普通に運動をするのは無理なケースが多い。医者語：気管支の粘膜の炎症が原因で、気管支の広がりが悪くなり十分に呼吸ができなくなる病気。特に息を吐くのが難しくなる。以前は、気管支を広げる飲み薬が治療の中心だったが、気管支粘膜の炎症が病気の主な原因と分かってからは、吸入ステロイドが治療の第1選択になっている。吸入ステロイドには重い副作用はほとんどない。最近、吸入ステロイドに気管支を広げる薬を混ぜた吸入薬も使われる。これらの薬でも効果がない場合は、粘液の過剰な分泌を抑え、更に気管支を広げやすくする抗コリン薬の吸入も保険で使えるようになった。治療の進歩により、ぜんそくで亡くなる人は年間1万人弱から1700人程度に減少。ちゃんと治療すれば激しいスポーツも可能になった。

20年くらい前、この季節に救急病院で当直をしていると、ぜんそくの患者さんが次から次に来たものです。今は数名程度でしょうか。治療の進歩には驚かされます。

質問は事務局へ
〒807-0111
福岡県芦屋町
白浜町2の10
「おのむら医院」内
電話093・222・1234
FAX093・222・1235

呼吸症候群が考えられます。寝る姿勢を直したら眠気が減ったという例があります。第183回患者塾「インフルエンザとエボラ出血熱」その傾向と対策」は6日午後3～6時、福岡県水巻町の遠賀中間医師会館で。入場無料。